

すみれ通信 9月号

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に
発信しています

(第135号)

〒 251-0032

藤沢市片瀬339-1

藤沢市医師会館

在宅医療支援センター

TEL 0466-41-9980

FAX 0466-41-9981

✉ fuji-zaitaku@movie.ocn.ne.jp



第2回「在宅医療・介護連携」多職種研修会報告

今回の研修会は、「介護」の側面を切り口に、介護保険制度に関すること、現場から見える介護ニーズの現状を共有し、多職種がそれぞれの立場で感じている課題と多職種全体で取り組む課題について考えることが出来ることを目的とし開催しました。

日 時：令和8年7月16日(木) 19:00~20:30

場 所：藤沢市医師会館 2階ホール

テーマ：在宅療養を支えるために

多職種で共有したい介護のこと

内 容：①藤沢市第9期介護保険計画(抜粋)

藤沢市の介護保険の現状

藤沢市介護保険課 猪俣順一 氏 荒尾陽祐 氏

②在宅療養者が抱える介護ニーズの実際

鶴沼南地域包括支援センター 眞田啓史 氏

③話してみよう 介護のこと(グループワーク)

参加者：65名 関係者11名 計76名



アンケート：回収数 62

- ・医療職との違いをいい意味で解りました。
- ・自分が思いもよらなかった考えにも触れることが出来た。視野が広がりました。
- ・改めて普段関わらない職種の方と関わり、様々な視点で物事を見る機会になりました。
- ・大変面白いテーマ・切り口だったと思います。
- ・介護保険計画の現状について学びになった。
- ・介護について知らないことがたくさんあると認識しました。現場でも活かせるように勉強します。

医療と介護の複合的課題を持つ高齢者が増加することが予想されている中、在宅療養を支えていく多職種向けの研修会として「介護」を切り口とした研修会については、今後も取り組んでいく必要があると考えています。



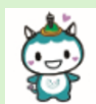
第3回多職種研修会のご案内

日時：令和8年9月17日(木) 19:00~20:40

場所：藤沢市医師会館 2階ホール

テーマ：ACP に関する情報を

いかに搬送先病院につなぎ、共有するか!



在宅医療の現場から No.11



湘南台スマイルクリニック

院長 藤原 正三

湘南台スマイルクリニックの藤原正三です。時が経つのはあっという間で、湘南台の地で在宅医療を始めて 13 年目になります。開業当初は在宅クリニック、訪問看護ステーションの数は今ほど多くなく大変でした。ベテラン訪問看護師さん、ケアマネジャーさん等に色々教わりながら育てて頂きました。

在宅療養を希望される患者さんに時間的猶予はありません。特に癌末期患者さんの場合、御紹介頂いたケースは迅速に対応し、私の理念である「愛ある医療」を実践することを心掛けてきました。

患者さんの中には、治癒を目標とできない方も少なからずいます。そんな患者さんにどのように接するのが正解か未だにわかりません。ただ、日々心掛けているのは、「人生最後の主治医である」ことです。解決できなくても、患者さん、御家族と一緒に考え、悩みながら看取りまでできた達成感是非常に大きいです。無力な私に対して、患者さんから「先生に診てもらってよかったよ」と言って頂けることが最高の褒め言葉なのです。

2026 年度の診療報酬改定は、在宅クリニックにとっても非常に厳しい内容になりました。中でも「在宅医療充実体制加算」の要件が非常に厳しいのが印象的でした。

主な要件として、常勤医師 2 名以上を含む 3 名以上の人員体制、自院単独での 24 時間の連絡・往診体制、過去 1 年間に緊急往診 30 件以上かつ看取り 30 件以上の実績が求められます。また、在宅患者のうち重症・終末期患者が 2 割以上、ICT 連携の届出、医師 1 人あたりの訪問患者数が 100 人以下という基準が設定されています。さらに日々の診療の充実だけでなく、医学生や研修医等への教育実績も求められています。

在宅クリニックが 24 時間体制を維持するには、理念を共有した仲間と資金が必要です。

一昔前までは一生懸命診療すれば経営のことなど考える必要はありませんでした。しかし、これからの時代は診療の質や経営力がさらに重視されそうです。どんなにAIが進化しようとも、人間の最期を見届けるのは人間であるはずで。

厳しい時代になりましたが、私はこれからもこの藤沢の地で「愛ある医療」を実践する覚悟です。

